

こっこめ通信 08 2024

八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

「雨が降らない」号

「危険な暑さ」とニュースなどで流れてきても、八丈島はそれほどではないと思っていました。ところが今年の八丈島の夏は本土同様の猛暑で、雨が降らずカラカラな状態です。詳しい記録等は次ページで紹介しますが、ここまで暑くなると早く秋になってほしくなります。でも、秋は台風が来るので、冬ですかね。(H.T.)

さて、今回は「親子で夜の昆虫観察会」「今年の梅雨は雨が少なかった」「7月は少雨で高温」についてのお話です。

親子で夜の昆虫観察会

7月28日、夏休み特別行事「親子で夜の昆虫観察会」を開催しました。毎年実施しているこの行事はとても人気があり、直ぐに定員(15名)に達してしまいます。今年も早々に定員になってしまい、参加しようと思っていた方には申し訳なく思っています。来年度は定員をすこし増やします！

植物公園内で開催するこの行事は、トイレの灯りや外灯周辺を探しながら歩きます。途中に園内で伐採した木を利用したトラップやライトトラップ(写真右上)も設置しています。外灯がLEDに替わってから、公園内の虫が少なくなってしまう感じがありますが、ここ数年はハチジョウコクワガタが沢山見られるようになってきていて、今年はなんと1時間で18匹も見つかりました。

最後に感想を聞き、それぞれ捕まえた昆虫を観察しました(写真右下)。今年も一番多く見られて、1番多く採集された昆虫は「サツマゴキブリ(移入種)」でしたね。

下の画像はライトトラップに集まった昆虫たちです。以前はいろいろな種類が飛んできていたのですが、最近はアオドウガネや小さな蛾ばかりになっています。クワガタムシやカミキリムシを期待していた子供たちには、小さな昆虫たちはスルーされてしまうことが多かったので、撮影して紹介します。(H.T.)



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

今年の梅雨は雨が少なかった

伊豆諸島を含む関東甲信地方の梅雨入りが発表されたのは6月21日。八丈島では梅雨入り前の6月中旬から前線が島周辺に停滞していたため、雨の降る日が多かったです。しかし、梅雨入り発表後からは前線が北上してしまい、雨は降らず、かといって晴れるわけでもなく、湿度100%のジメジメの日が続きました。雲も低く、標高の高い場所の植物は雨が降っていないのに濡れていることが多かったです。霧が発生する日もあり、視界不良で飛行機が欠航してしまう日もありました。

そして、梅雨明けの発表は7月18日でした。28日間の梅雨の期間中、降水が記録されたのはたった10日で、総降水量は99.5mmとなっています。一日に降る雨が少ないのも今年の特徴でした。(右図上)

過去30年間(1994年から2023年)の梅雨の降水量平均が551.5mmなので18%程しか降っていないことになります。(ちなみに梅雨の期間の平均42.9日でした)

2010年からの降水量と梅雨の日数を比べてみても、今年の降水量がいかに少なかったかが分かります。(右図下)



7月は少雨で高温

梅雨が明けるまでの間は雨が多いはずが、今年は梅雨の期間も降らず、7月に降水の記録があった日は、11日の0.5mm、12日の22mm、13日の3mm、19日の1mm、25日の0.5mm、31日の0.5mmの6日間だけでした。月の降水量が27.5mmと7月の降水量としては観測を始めた1906年7月からの過去4番目に少ない記録となっています(表左)。ちなみに7月の平年値は254.1mmですので10%にも満たないです。

さらに、雨が降らないだけでなく、13日以降は日差しも強くなり、気温も下がらず、連日30℃越えの真夏日が続きました(下グラフ)。そしてとうとう7月30日には、八丈島の観測では初めての猛暑日35.5℃を記録してしまいました。今までの日最高気温の1位は1942年の34.8℃と82年ぶりに記録が塗り替えられました。ちなみに、7月29日の34.1℃は4位の記録になっています(表右)。南寄りの風の日が続き、夜になっても気温が下がらず、島では珍しい熱帯夜が続いています。

雨が降らず、日差しが強く、植物たちが悲鳴を上げ、先月紹介した着生植物は干からび始めてしまいました。この先も雨の予報がないので少し心配です。(H.T.)

7月：月の降水量少ないTOP10

順位	年	総降水量
1位	2017年	2.5
2位	1995年	13
3位	1937年	17
4位	2024年	27.5
5位	1927年	29.6
6位	1984年	32.5
7位	1942年	35.2
8位	2008年	38.5
9位	1965年	39.2
10位	2013年	40

八丈島での日最高気温のTOP10

順位	年	気温
1位	2024/7/30	35.5
2位	1942/8/2	34.8
3位	1942/7/30	34.2
4位	2024/7/29	34.1
5位	1942/7/29	34
6位	2020/8/21	33.8
7位	2010/8/31	33.5
8位	2013/8/19	33.3
9位	1984/8/14	33.3
10位	2020/8/16	33.2



八丈植物公園季節調査会の報告

今月の季節調査会は、3名の参加者+スタッフ2名で開催しました。梅雨空で蒸し暑い中始まり、シダ植物19種類を含む74種類の植物を観察しました。開催中、鳥の音が賑やかに聞こえ、植物だけではなくチョウやセミ、トンボなど、いろいろな昆虫類も観察しました。木の枝に止まっていたツクツクボウシが後退する様子を、間近でじっくり観察することができました。(M.O.)

八丈植物公園季節調査(2024年度第4回)7月14日、天気:晴れ、気温:30.0℃

調査者:茂手木、小林、橋本 VC:沖山、高須

1	ヤブニッケイ	葉						
2	タコノキ	気根の長さ40.5cm、太さ12cm、実						
3	オオタニワタリ	最長丈129.0cm、幅16.8cm						
4	ニオイウツギ	実沢山						
5	ニオイバンマツリ	花						
6	オオシマザクラ	葉(サクラクワガタハバチによる食害)						
7	アオツツラフジ	花	30	タチスズメノヒエ	実	53	ミツバ	花
8	アオノクマタケラン	実・花	31	チチコグサモドキ	実	54	ムクゲ	花
9	アベリア	花	32	テイカカズラ	実	55	ヤブツバキ	実
10	アメリカスズメノヒエ	花・実	33	テリハノブドウ	実	シダ植物		
11	イヌビワ	実	34	トウバナ	花	1	アマクサシダ	
12	ウスベニニガナ	花	35	トベラ	実	2	オオイタチシダ	孢子嚢
13	ウリクサ	花	36	ナガエコミカンソウ	実	3	オオタニワタリ	孢子嚢
14	オオバコ	実	37	ナギナタガヤ	実	4	オニヤブソテツ	孢子嚢
15	オオムラサキシキブ	花・実	38	ニワゼキショウ	花	5	カニクサ	
16	オニドコロ	雄花	39	ヌカススキ	実	6	タチクラマゴケ	
17	ガクアジサイ	花・実	40	ネジバナ	花	7	タチシノブ	
18	カタバミ	実	41	ハイビスカス	花	8	タマシダ	
19	カヤツリグサ	花	42	ハゼノキ	実	9	ナチシケシダ	
20	キフゲツトウ	花	43	ヒナギキョウ	花	10	ノキシノブ	
21	クワズイモ	花	44	ヒメクグ	花	11	ハチジョウカナワラビ	
22	コナスビ	花	45	ヒメヒオウギズイセン	花	12	ハチジョウシダ	孢子嚢
23	コミカンソウ	実	46	ヒメムカシヨモギ	実	13	ヒトツバ	
24	サクユリ	実	47	ブーゲンビリア	花	14	ヘラシダ	孢子嚢
25	シチトウスミレ	閉鎖花	48	フウトウカズラ	若実	15	ホシダ	
26	シロツメグサ	花	49	ヘラバヒメジョオン	花	16	ホラシノブ	
27	スダジイ	実	50	ホウライアオキ	花・実	17	マツバラ	
28	セイヨウタンポポ	実	51	ホンバツルメヒシバ	花・実	18	マメツタ	
29	センダン	実	52	ホルトノキ	花	19	ワラビ	

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、潮だまりでも見られる「ギンユゴイ」にスポットを当ててみたいと思います。



ギンユゴイ

Kuhlia mugil

ユゴイ科ユゴイ属。房総半島以南の太平洋岸、インド・太平洋域の温帯・熱帯海域に分布しています。初夏になると潮だまりで幼魚が見られるようになり、大きくなると外海へと移動します。

ビジターセンターの展示水槽でも毎年飼育していますが、成長が早く、秋になると海に帰ります。尾びれの5本の黒いラインが特徴。

乙千代ヶ浜のタイドプールの人気者ですね。(H.T.)

2024
8

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日 はガイドウォークや 特別行事があります				1	2	3 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「潮溜まり探検隊」
4 ガイドウォーク 夏休み特別行事「植物 公園ナイトウォーク」	5	6	立秋 7	8	9	10 ガイドウォーク
11 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	12 ガイドウォーク	13	14	15	16	17 ガイドウォーク
18 ガイドウォーク 子供クラフト「葉っぱで スピーカーを作ろう」 夏休み特別行事「植物 公園ナイトウォーク」	19	20	21	処暑 22	23	24 ガイドウォーク 八丈学講座「赤色立 体地図を見よう」
25 ガイドウォーク 子供クラフト「ネイ チャークラフトアート」	26	27	28	29	30	31 ガイドウォーク

イベントプログラム

夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」	潮だまりでいろいろな生物を採集してみんなで観察します。大人だけの参加もOK! 8/3 (10:00～ 約1時間半) 小学生以上(小学生は保護者同伴)(未就学児の同伴不可) 垂土海水浴場(予定) 集合・解散 参加費:50円 定員:15名
夏休み特別行事 「植物公園ナイトウォーク」	夜の公園を歩き、夜に活動する生き物を探したり星を観望します。 8/4、8/18 (19:30～ 約1時間) 夜の公園を1時間歩ける方 植物公園メインエントランス集合・解散 参加費:50円 定員:15名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう! 8/11 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費:無料 定員:10名
子供クラフト 「葉っぱでスピーカーを作ろう」	エナメル線と磁石で落ち葉を振動させてスピーカーを作ります。 8/18 (13:30～ 約1時間半) 小学生(3年生まで保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 参加費:無料 定員:10名
八丈学講座 「赤色立体地図を見よう」	島の形がわかる赤色立体地図で、島の成り立ちや人々の生活の跡を探してみよう! 8/24 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費:無料 定員:10名
子供クラフト 「ネイチャークラフトアート」	自然素材を使ってキャンドル置きを作ります。 8/25 (13:30～ 約1時間半) 小学生(3年生まで保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 参加費:無料 定員:10名
植物公園ガイドウォーク	解説員が植物公園内をご案内します。 毎週 土日及び祝日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。 ビジターセンター集合・解散 参加費:無料 定員:10名

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2024.8.1 第279号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888
E-mail:info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

2ページの気象情報のデータを最後まで確認しなかったため、こっごめ通信の発行が遅くなり申し訳ありません。8月になっても雨が降らず、植物の葉の色が薄くなってきてしまいました。雨で苦労されている方がたくさんいますが、八丈島では雨降って欲しいです。(H.T.)